

# 検査不正問題を解決

## KMC 測定データ管理システム



フォーク独自の測定データは専用ソフトで自動出力が可能

練業者の減少による検査技術の低下などが課題となり、提供を始めた。

「測定IoT」では、

三次元測定機やノギス、

マイクロメーターなどの

測定器で測定した数値を

自動で記録でき、クラウド

上でデータベースによる

一元管理が可能。測定

器のメーカーは問わない

としている。オプション

で音声入力機能も備え、

アナログ測定器の測定デ

ータも簡単に入力でき

る。

入力された検査データ

はユーザー独自のフォー

マットで自動出力が可能

。検査表作成にかかっ

ていた作業の手間を削減できる。検査結果内容を自動集計し統計処理や、測定器の校正時期の管理なども可能。また、ログやメールなどによるデー

タ改ざん防止機能や、担当者や変更履歴などが自動で保存される機能なども備える。

フランは「ベーンシ

ック」「スタンダード」「エ

キスパート」の3タイ

プ。「ベーンシック」は買

い取りで120万円、サ

ブスクリプションで月額

2万4000円(5ユー

ザー)。オプションの音

声入力機能は10万円。

「今、社会問題となって

いる検査不正をいかに根

絶するか。当社のソリュ

ーションで現場から改革

していきたい」(佐藤声

喜社長)。

IOT関連システムなどを手掛けるKMC(川崎市高津区、044・322・0400)は、中

小企業向けに製造現場の検査不正を解決するシス

テムの提供を始めた。測

定機器と連携し、データ

管理や検査表の出力が可

能。これまでの手書きに

よる記録をなくし、人的

による作業の効率化、熟

練業者の減少による検査

技術の低下などが課題

となり、提供を始めた。

「測定IoT」では、

三次元測定機やノギス、

マイクロメーターなどの

測定器で測定した数値を

自動で記録でき、クラウド

上でデータベースによる

一元管理が可能。測定

器のメーカーは問わない

としている。オプション